

豊川市こぎつね教室(外国人の子どもの就学促進事業)の現状について

市民部市民協働国際課

1 事業の概要

(1) 目的等

市内に住所を有する外国にルーツのある子どものうち、日本語が未熟なため小中学校に不就学及び不登校となっている児童生徒等に対して、学校教育に必要な初歩的・基礎的な日本語指導等を一定期間集中的に行うことにより、学校復帰の援助を図る。

(2) 事業内容

- ①学校教育に必要な初歩的・基礎的な日本語指導及び学習習慣の確保
- ②教室内外における日本文化等の体験活動

(3) 設置場所

豊川市諏訪3丁目300番地 プリオビル5階

(4) 開室日及び閉室日等

- ①開室日及び開室時間 月曜日から木曜日までの午後2時から午後5時30分まで
- ②閉室日
 - ・金曜日、土曜日及び日曜日
 - ・国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
 - ・12月29日から翌年の1月3日まで

(5) 対象者

- ① 市内に住所を有する外国にルーツのある子どものうち、就学年齢にも関わらず、市立小中学校に通っていない者で、保護者及び本人が市立小中学校への入学を希望しており、学校教育課長及び市長が日本語の指導が必要と認める者
- ② 市立小中学校に在籍している外国にルーツのある子どものうち、保護者及び本人が入室を希望し、学校教育課長及び在籍する学校長が日本語の指導が必要と認める者
- ③ 市内に住所を有する外国にルーツのある就学年齢前の子どものうち、小学校入学まで6箇月以内で、保護者及び本人が市立小学校への入学を希望しており、学校教育課長及び市長が日本語の指導が必要と認める者

(6) 定員及び期間

原則50名（令和2年度より30名から拡充）、通室期間原則6箇月

(7) 通室料

無料（保険料年間940円のみ保護者負担）

(8) 送迎及び通室日

市の公用車による送迎は、原則小学生相当の年齢の通室者
2グループ制のため、1日2便

通室日：不就学児童：週4日（バス送迎なし・保護者送迎）

就学児童：週2日（バス送迎あり）

中学生：週4日通室可能（午後2時～午後5時）バス送迎なし

(9) 職員体制

コーディネーター兼指導員1名、日本語指導員4名、送迎車運転手1名

(10) 事業費（令和4年度予算）

支出：人件費（報酬等）、需用費、役務費、委託料等 13,034千円

収入：教育支援体制整備事業費補助金 4,053千円

（外国人の子どもの就学促進事業：文部科学省）

2 こぎつね教室児童生徒数の状況 ※令和4年3月31日現在

(1) 延べ通室人数 443人（平成22年1月～令和4年3月）

※平成22年1月開始時 8人

(2) 年度別在籍者数の推移（人）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
新規入室者数	35	42	37	50	60	47	43
年間在籍者数	44	51	52	60	74	69	47
定員	20	20	20	20	30	50	50

(3) 国籍別新規入室者数の推移（人）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
ブラジル	21	30	27	36	44	31	24
中国	2	4	2	1	2	1	0
フィリピン	4	3	4	4	7	3	2
ペルー	6	2	2	2	2	5	4
ボリビア	0	1	1	0	1	0	0
インドネシア	0	1	0	3	1	0	0
ベトナム	1	0	0	1	1	4	10
その他	1	1	1	3	2	3	3
計	35	42	37	50	60	47	43

(4) 学年別新規入室者数の推移 (人)

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
未就学児	4	2	10	7	9	19	11
小学校低学年	12	28	18	22	27	14	20
小学校高学年	12	5	8	13	15	7	5
中学生	7	7	1	8	9	7	7
計	35	42	37	50	60	47	43

(5) こぎつね教室職員体制の推移 (人)

	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
コーディネーター兼日本語指導員	1	1	1	1	1
日本語指導員	2	2	3	4	4
運転手兼日本語指導補助員	1	1	1	0	0
運転手	0	0	0	1	1
計	4	4	5	6	6

3 プレスクールの実施

市内に住所を有する外国にルーツのある就学年齢前の子どものうち、小学校入学前までの6箇月以内で、保護者及び本人が市立小学校への入学を希望している者を対象とし、毎年10月～3月に実施しています。

令和3年度は、親子を対象とした「親子プレスクール」を開始し、前期(10月～12月)、後期(1月～3月)各10回の授業を実施しました。保護者が一緒のため子どもたちが安心して学べるだけでなく、保護者にも高い意識付けを行うことができ、教室で学んだことを親子で復習するなど家庭学習も進むことで、より学習の効果を上げることができました。また、従来のプレスクールでは、子どもの様子や問題点などが保護者に十分に伝わりにくいといった点が課題でしたが、親子で学ぶようにしたこととで解消することができ、より充実した指導を行うことができました。

○令和3年度「親子プレスクール」参加者 11組

4 オンライン授業の実施

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため教室の開室が困難な場合でも、継続して授業を実施できるように、オンライン授業が実施可能な環境を整備しました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により通室できない児童を対象に

オンライン授業を実施し、日本語学習の継続的な指導を行うことで、子どもたちの「学びたい」という意欲を学習の成果に繋げることができました。

また、こぎつね教室を卒業した中学生を対象にアフターフォローとして週2回30分のオンライン授業を実施し、オンラインにより生徒同士で日本語会話の練習を行うようになるなど、互いに競い合い成長するといった成果も得られました。

5 課題

(1) 多様化するニーズへの対応

① 多国籍化する児童生徒への指導

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外国人の入国が制限されていることもあり、入室者が大きく増加することはありませんでしたが、今後入国が緩和されることで転入者が増え、こぎつね教室への入室希望者も増加することが予想されます。これまではブラジル国籍が多い傾向にありましたが、最近ではベトナム国籍が増加するとともに、バングラディッシュ、ネパールなど多国籍化しており、様々な国籍の児童生徒への日本語指導ができる体制を整える必要があります。

② 多様な特性を持つ児童生徒への対応

近年「発達障害」と呼ばれる子どもが増加しており、こぎつね教室でもここ数年多くみられるようになりました。授業中じっと座ってられない子もおり、指導に苦慮しているような状況です。そのため、指導員の養成（研修受講など）を行うほか、学校と子どもの発達や特性などの情報を共有し連携を図ることで、適切な指導を行う必要があります。

(2) 効果的・効率的な日本語指導

① オンラインを活用した新たな学習

こぎつね教室では、新型コロナウイルス感染症の影響により通室できない児童生徒には、オンラインでの授業を実施しています。オンライン授業により継続的に指導することができることで、子どもたちの学習意欲も高まり、学習の成果も上がっています。そのため、今後は感染症対策としてだけのオンライン授業ではなく、学校で配備されたPC等を活用し、学校と連携してオンラインでの指導を促進し、子どもたちが効果的に学ぶことができる新たな学習環境を提供する必要があります。

② 集中的な指導の実施

こぎつね教室では、就学中の児童については学校と自宅への送迎を1日2回公用車で行っていますが、通室する児童の在籍校によっては送迎範囲も広域となるため、授業時間や帰りの時間にも影響し、授業計画の調整などにも大変苦慮しています。そのような状況に加え、今後、外国人市民の増加が見込まれる中、日本語指導の必要な児童生徒も増えるとともに、さらなる居住地域の広がりにより送

迎範囲が拡大されると、送迎を希望するすべての子どもたちに十分な対応を行うことが困難となるばかりか、送迎に要する時間により授業時間の確保にも影響が及ぶことも懸念されます。

そのようなことから、今後は拠点校などを設置し、安全面も考慮した利便性の高い場所での教室運営を行うとともに、設置校以外の学校からも参加できるようにオンラインを活用した遠隔授業を実施するなど、日本語指導を必要とするすべての児童生徒に対し集中的な指導に取り組むことで、効果的・効率的な日本語指導を行えるように検討する必要があります。

(3) 市組織のあり方と部署間連携

こぎつね教室への申し込みは、保護者や本人の希望だけではなく、学校からの副申書により学校教育課長を経て申込がされます。また、就学状況や進路状況を把握することで、こぎつね教室への入室を促し、学校への円滑な転入につなげることができるため、教育委員会をはじめ日本語指導助手や各小中学校の担当教諭との連携が欠かせません。現在は、学校教育課や学校との連携を強化し、コーディネーターが各校を巡回して日本語指導助手や各校の担当教諭と情報交換に努めていますが、このような教室については、他市では教育部局において運営されており、前述の効果的・効率的な指導の面やプリオビル5階の教室の年間使用料などの運営費面も考慮し、組織のあり方を検討していく必要があります。

◆近隣市等における外国人児童生徒支援事業所管部署の状況

市	所管部署	備考
豊橋市	学校教育課	外国人児童初期支援コース「きぼう」(岩西小)、「みらい」(豊岡中・羽田中)
蒲郡市	学校教育課	各学校に「日本語教室」を設置 初期適応指導教室「きぼう」(塩津中)
新城市	学校教育課	日本語初期指導教室(新城小・千郷小)のほか、プレスクールを設置
岡崎市	学校指導課	日本語初期指導教室「希望」(南中)
西尾市	学校教育課	日本語初期指導教室カラフル(鶴城小)
半田市	学校教育課	日本語初期指導教室(R4は中学校1校)